

子どもたちに核のゴミのない寿都を！町民の会 広報紙 No.32 2021年10月1日発行

福島「処理水」の放出方針 2015年に約束した大臣が不誠実と批判

核のゴミ問題において、私たちは、「国（政府）」をどのように信用すれば良いのでしょうか？

今年4月13日、福島原発事故でたまった「処理水」（核の汚染水を処理したものの一部核種は残された水）を2年後に海に流すことを国が決めました。地元漁業者の反対を押し切ったのです。

しかし、2015年8月24日に、経済産業省は福島県漁業協同組合連合会に「漁業関係者を含む関係者への丁寧な説明等必要な取組を行うこととしており、こうしたプロセスや関係者の理解なしには、いかなる処分も行いません」と約束しています。

この文書の差出人は、衆議院議員の高市早苗氏です。経済産業省大臣臨時代理・国務大臣として記載されていました。当時の宮澤洋一経済産業省大臣が海外に出張していたからです。

ところが、高市氏は、この文書について説明を受けていないとブログで明らかにしています。さらに、今回、海洋放出する方針が決まったことを「不誠実」と批判までしているのです。

一方、片岡町長に「首長の意に反して進まない書面」を出した、あの梶山経済産業省大臣が福島県漁業協同組合連合会の会長に「風評被害対策をしっかりと行っていく」と説明しに行きました。

かつての大臣が「関係者の理解なしにはいかなる処分も行いません」という約束をしたのに、いまの大臣が「処理水」を処分するのに閣僚会議の一方的な方針のもと、関係者に説得に行ったのです。

我が寿都町にとっても、他人事ではありません。

「交付金をもらって調査を止められる」と考えている町民の皆さん、耳を傾けていただけませんか。もし片岡町長の言うように精密調査まで進んで、20年に渡って多額の交付金をもらってしまったとします。調査の最終段階を終える2041年、また、六ヶ所村から核のゴミを搬出しなければならない2045年の期限を前に、きっと、「国」と称する官僚・大臣（閣僚）・関係者が役割を変えてやってきます。「最終処分場は寿都町で建設できるかたちで設計しますので、お願いします」。**そのとき、NOと言って、通ると思いませんか？**



高市氏ブログ

『福島民報』号外

核ゴミ引き換え
作戦失敗？

洋上風力「有望な区域」選定から外れる

昨年9月にNHKが放ったスクープを覚えていますか？ NHKは、寿都町議会全員協議会の議事録を入手し、片岡町長が非公開の場で何を言っていたのか、明らかにしました。片岡町長は、国から洋上風力発電の「促進区域」の指定を得るために、核のゴミ最終処分場の文献調査に手を挙げると言っていたのです。

「資源エネルギー庁の官僚をくすぐった中で、洋上風力を浮上させるという、いやらしい戦法かもしれないが、結果よければなんでもよし」「きれいごとで勝ち取れるというものであれば、それに越したことはない。遅れを取り戻すためには、私はどんな手を使ってでもやってやるという思いでいる」と強い決意を示していました。そして10月、片岡町長は文献調査に応募したのです。

それから1年がたった、この9月13日、経済産業省は洋上風力発電の「促進区域」「有望な区域」「一定の準備段階に進んでいる区域」を発表しました。寿都沖を含んだ「岩宇及び南後志地区沖」は「一定の準備段階に進んでいる区域」とどまり、「有望な区域」にステップアップしませんでした。

「有望な区域」に進むためには、「地元関係者との利害調整」という条件があります。ところが、片岡町長の独断的な姿勢に反発した島牧村と島牧漁協が昨年12月15日に「岩宇・南後志地区洋上風力発電導入推進協議会」を脱退しているのです。

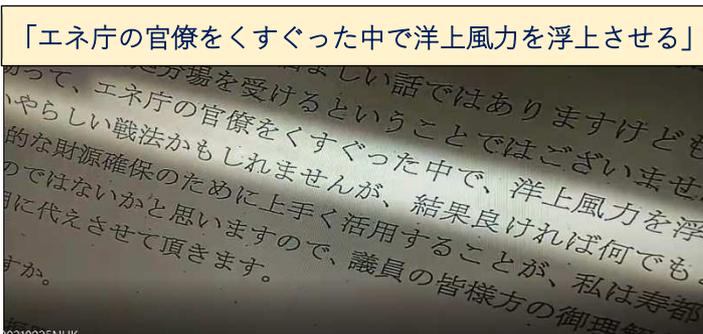
そもそも、寿都率いる岩宇・南後志地域はまだまだ環境整備が必要な段階です。一方で、核ゴミ問題へ一石を投じなくとも「促進区域」や「有望な区域」に進展している地域もあるわけです。

洋上風力発電も、自然環境に配慮を求めなくてはならないものです。とくに、海に生きる漁業者にとっては、生活の場が奪われるものになりますので、慎重に運ばねばなりません。洋上風力を進めたいのであれば、核のゴミに手を挙げるのではなく、理解を求める地道な活動が必要だったのです。

核のゴミ問題への一石が自分の思いだと繰り返し片岡町長本人は説明していますが、そのことが隣接町村の反発を招き、事態を悪化させています。片岡町長の言う「いやらしい戦法」は通用していません。「片岡ビジネス」は、もはや限界を迎えているのでないでしょうか？



片岡町長が本音を語った議会全員協議会の議事録



「エネ庁の官僚をくすぐった中で洋上風力を浮上させる」

洋上風力促進準備
道内3区域を選定

経済産業省

経済産業省は13日、国が洋上風力を優先的に整備する「促進区域」指定に向け、受け入れ準備が進んでいる10区域を発表した。道内からは「石狩市沖」「島牧沖」「松前沖」の3区域が新たに加わった。昨夏に準備区域に選ばれた「岩宇（後志管内岩内町、共和町、泊村、神恵内村）及び南後志地区沖」「檜山沖」の2区域は、第2段階の「有望な区域」選定から外れた。

<北海道新聞 2021年9月15日>



<NHK 2020年9月25日放送>

＜洋上風力発電の区域指定の現状＞

2020年11月1日（村上市HPより）

2021年9月13日（経済産業省HPより）

洋上風力発電建設へのステップアップ

促進区域	長崎県	五島市沖		長崎県	五島市沖	
	秋田県	能代市・三種町・男鹿市沖		秋田県	能代市・三種町・男鹿市沖	
	秋田県	由利本荘市沖（北側・南側）		秋田県	由利本荘市沖（北側・南側）	
	千葉県	銚子市沖		千葉県	銚子市沖	
			進展	秋田県	八峰町・能代市沖	
有望な区域	秋田県	八峰町・能代市沖		青森県	日本海沖（北側）	
	青森県	日本海沖（北側）		青森県	日本海沖（南側）	
	青森県	日本海沖（南側）		長崎県	西海市江島沖	
	長崎県	西海市江島沖		新	千葉県	いすみ市沖
			進展	秋田県	潟上市・秋田市沖	
			進展	新潟県	村上市・胎内市	
			進展	山形県	遊佐町沖	
一定の準備段階に進んでいる区域				新	岩手県	久慈市沖
				新	福井県	あわら市沖
				新	福岡県	響灘沖
				新	佐賀県	唐津市沖
				新	北海道	石狩市沖
				新	北海道	島牧沖
				新	北海道	松前沖
秋田県	潟上市・秋田市沖	残留	北海道	檜山沖		
新潟県	村上市・胎内市	残留	北海道	岩宇及び南後志地区沖		
山形県	遊佐町沖	残留	青森県	陸奥湾		
北海道	檜山沖					
北海道	岩宇及び南後志地区沖					
青森県	陸奥湾					

肌感覚頼りの行政は許されるのか？

現在、寿都を揺るがしている核のゴミの問題。これは、原発の問題であると同時に、民主主義の問題でもあります。

昨年8月13日、片岡春雄町長が核のゴミ（高レベル放射性廃棄物）最終処分場について調査応募の意思を明らかにしました。町民の会の前身の「寿都に核のゴミはいらない町民の会」が反対署名を集め、各地区での説明会でも反対意見がつぎつぎ出されました。NHKのスクープ報道により、片岡町長が「町民に何を立てたら、かえって面倒になる」と問題発言を議会全員協議会で行っていたことも明らかになりました。

反対意見に耳を傾けようとしない片岡町長に対して、10月7日、町民の会は、住民投票条例の制定を求める署名を提出しました。しかし、その2日後の10月9日片岡町長は東京で応募書類を提出してしまいました。その根拠は、「肌感覚で、住民の過半数が調査に賛成している」というものでした。

自治体の長が、日々さまざまな判断をするにあたって、そのすべてを町民に何うことは現実的ではないでしょう。しかし、町の将来を大きく揺るがせる核のゴミ最終処分場の調査に応募するかどうかを、おぎなりの説明会で済まし、住民投票を求める声も無視し、それでありながら、過半数は賛成していると根拠不明の肌感覚を持ち出したことは許されません。

美味しい我が故郷④



今年も 美味しい 初いくら

町民の会川柳⑥

ニューモや 安全ばかり リスクなし
核ゴミも 汚水といっしょに 流すかも
独断で なんでもありの 町づくり
核のゴミ 来ないと思う お人好し
わが町に 指導者いても ボスいらん
みずからに 言って聞かせろ 学ぶこと
ボールペン 回すだけでは 答え出す
追及に 貧乏ゆすり 十八番(おはこ)です
夕焼けに 飛び交う蜻蛉の 似合う町
群青の 母なる海の 富と幸
分断を 引き起こしたの あなたです
独断で 町の私物化 許されん
町民の 皆で町を 盛り上げよう
守りたい 豊かな自然 いつまでも

(ま) (ま) (ま) (や) (こ) (こ) (こ) (こ) (こ) (こ) (こ) (こ) (じ) (じ) (さ) (さ)

あなたの川柳もぜひお寄せください。
kakugomino@gmail.com

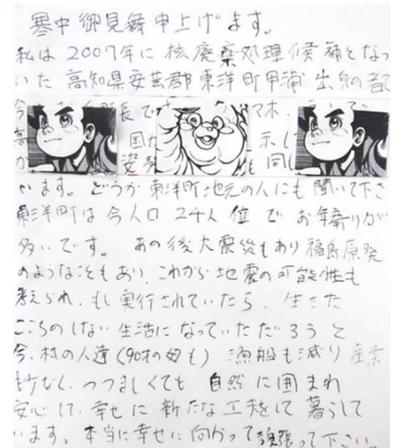
東洋町からのハガキ 自然に囲まれ安心して暮らしています

以前にも載せましたが、かなり前になりましたので、ふたたびご紹介します。町民の会にやってきた高知県東洋町出身者からのお便りです。

東洋町では2007年に、町長が独断で文献調査に応募し、その後、反対運動に立ち上がった町民たちが応募を撤回させ、新町長が誕生しました。

私たちの町と同様、カネに目がくらみ、町民の意見に耳も傾けずに応募した町長がいなくなったあと、どうなったのか。最後の4行でよく分かります。

「今、村の人達、漁船も減り産業も少なくなつても 自然に囲まれ安心して、幸せに新たな工夫をして暮らしています。本当に幸せに向かって頑張ってください。」



子どもたちに核のゴミのない寿都を！町民の会

事務局 048-0401 寿都郡寿都町字新栄町 101-6
TEL/FAX : 0136-62-3630 kakugomino@gmail.com
HP : <http://kakugomi.no.coocan.jp/>
FB : <https://www.facebook.com/106569234530018/>
北海道銀行寿都支店(店番号 304)普通 0481374
ゆうちょ銀行 記号:19070 番号:44246811

